

## 追悼



## チャールズ オーウェン客員会員の弔報 イリノイ工科大学デザイン学部名誉教授

佐藤啓一

イリノイ工科大学チャールズ オーウェン教授が2019年10月17日に86歳で逝去されました。1997年日本デザイン学会春季大会で基調講演を行い、学会最初の客員会員でした。1960年代からデザイン方法論研究の草分けとして一貫して構造化プログラミング手法を開発し、独自の構造化プログラムの開発やその方法論体系を構築するとともに、多くの大規模システムデザインプロジェクトに応用した事例は国際的に注目されてきました。また方法論教育での学生によるシステムプロジェクトを通じて、先端技術の可能性を探索し、早くから環境や社会問題などを提起していました。そのプロジェクトのトピックはNASAスペースステーション、ナショナルパークサービス、交通システム、ヘルスケア、市民法律裁判支援システムなど極めて多様で、大規模かつ学際的なシステムデザインに挑戦する



ものでした。日本では、国際会議での講演、国際デザイン交流協会コンペ（第1回の未来の家、第3回のアクアテクチャとともにグランプリ受賞）などを通じて学界、デザイン界と広く親交がありました。また、1960年代から日本、台湾、韓国、インド、南米などのデザイン振興策による多くの留学生を受け入れ、特に日本からはデザイン学会会員を含め多くの大学、企業からの客員研究員、客員教授などを受け入れてこられました。

10月の家族、近親者だけの葬儀の後、1月25日にイリノイ工科大学デザイン学部にてメモリアルが開催され、妻のメアリー・オーウェン氏と親族、学長をはじめ大学関係者、理事、同窓生など100人を超える参加者で和やかに行われました。約2時間のプログラムは、クラム学長、キルパトリック副学長、ワイル学部長、ウィトニー前学部長、キリー ダブリンググループ代表、ガーバー シカゴシェルクラブ代表らのスピーチで始まり、オーウェン教授の研究、教育についてのグループディスカッション（4名ポーゲンポール、クマー、コンレイ、佐藤）、海外からのビデオメッセージ（Lee前IASDR会長）、他のメッセージの要旨紹介に続き、弟ダン・オーウェン、妻メアリー・オーウェンの挨拶で終わりました。会場にはブースが設けられ、出版物、プロジェクトポスター、講義ノートなどの教育研究に関わる業績の参考品とともに、海軍在籍時の写真、や、博物館を凌ぐ3万点のコレクションを持つ貝愛好家としての側面などが展示されていました。日本デザイン学会からは松岡会長からのメッセージ、山中前会長からビデオメッセージと客員研究員として滞在当時の方法論講義ノートのスライドが送られ、展示ブースのビデオモニタにてオーウェン教授の映像などとともに紹介されました。

オーウェン教授のプロジェクト、講義ノート、著作などは学部のWebページに一部収録されてアクセス可能です。<https://id.iit.edu/people/charles-l-owen/>

## お詫び

デザイン学研究特集号通巻97号に掲載された論文題名の誤記がございました。

同特集号110頁掲載『創造性研究から見たデザイン思考のルーツ』の著者である徐方啓氏に多大なご迷惑をおかけしましたことを深謝いたします。

## 訂正

デザイン学研究特集号通巻97号28頁の論文題名に誤りがありました。お詫びしますとともに訂正をお知らせいたします。

誤：創造性研究から見たデザイン思考のルーツ

正：イノベーションデザイン教育による人材育成

特集号通巻97号編集担当 永井由佳里

## 日本デザイン学会2019年度第2回運営委員会議事録

日時■2019年9月7日（土曜日）14：30～17：00

場所■慶應義塾大学 三田キャンパス（田町）研究室  
棟1階B会議室

出席者■松岡、蘆澤、大島、加藤（三）、上綱、工藤、  
國澤、久保（光）、杉下、村上、柳澤、柚木、  
佐藤（浩）、加藤（健）

欠席者■小林、佐藤（弘）、井口、岡崎、小山、永盛、  
生田目、平松、山中、小野

### 1. 会長挨拶

松岡会長より挨拶がなされた。

### 2. 2019年度第2回理事会議事録の承認（佐藤本部副事務局長）

2019年度第2回理事会の議事録が示され、原案通り承認された。

### 【審議事項】

#### 3. 2019年度秋季企画大会について（柚木実行委員長）

柚木実行委員長より、2019年度秋季企画大会について近日中に参加登録のホームページが開設され、申し込み期間は10月11日（金）までとの報告がなされた。また、大会プログラムと交通手段（送迎バスを準備する予定）について説明がなされた。なお、開会式等の段取りについては事務局とともに検討することとなった。

#### 4. 2020年度春季研究発表大会について（益岡担当理事（代）松岡会長）

松岡会長より、2020年度春季研究発表大会の詳細について益岡担当理事より、次回の理事会においてご報告いただくとの説明がなされた。

#### 5. 2019年度学会各賞選考結果について（山中担当理事（代）松岡会長）

松岡会長より、2019年度学会各賞選考結果について説明がなされた。選考の結果、功労賞2件、年間論文賞1件、年間作品賞2件との報告がなされ、承認された。

#### 6. 春季研究発表大会口頭発表における不正問題への対応（小林研究推進委員長（代）松岡会長）

松岡会長より、2019年度春季研究発表大会における口頭発表において概要集と口頭発表の内容が異なる講演があったとの説明がなされた。研究推進委員会等の関係委員会で事実関係を確認し、発表者（連名者含む）に対する対応を次回の理事会で審議することとなった。

#### 7. 2020年度秋季企画大会について（岡崎総合企画委員長（代）工藤理事）

工藤理事より、2020年度秋季企画大会の開催校候補として東京都市大学と東京工芸大学が挙がっているとの説明がなされた。今後、総合企画委員会と両校で検討を進めて調整を行っていくこととなった。

#### 8. 論文集の参考文献書式（DOI表記書式）について（佐藤（浩）論文審査委員）

佐藤（浩）論文審査委員より、参考文献書式（DOI表記書式）について説明がなされた。審議の結果、DOI表記を現行の参考文献書式に加えたフォーマットとすることとなった。ただし、紙面上の制約もあることから、ページ番号がある論文についてはDOI表記を省略できることとした。次回の理事会においてフォーマット案を示すこととなった。

#### 9. 論文の査読および編集へのインセンティブについて（柳澤論文審査委員）

柳澤論文審査委員より、論文査読業務に関わるインセンティブ案が示された。討議の結果、作品審査委員会におけるインセンティブとの整合性、謝礼を支払う場合のルール設定、および査読における特急料金の設定などが議論され、引き続き、議論を進めていくこととなった。

10. 会員の移動について（佐藤（浩）本部副事務局長）  
事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、  
入会：正会員 8 名、学生会員 5 名（内外国人 3 名）  
退会：正会員 7 名、学生会員 6 名  
が承認された。

11. 2021年の春季研究発表大会について（松岡会長）  
松岡会長より、2021年の春季研究発表大会の開催校として  
長岡造形大学を検討しているとの報告がなされた。次回の理事  
会において審議することとなった。

#### 【報告事項】

12. 選挙管理委員の委嘱について（永盛選挙管理委員長（代  
理）佐藤本部副事務局長）  
佐藤本部副事務局長より、次期選挙管理委員として、4名の  
先生にご担当いただくことになったとの報告がなされた。

13. デザイン学研究所の進捗状況について（久保論審委員長）  
久保論審委員長より、『デザイン学研究』の査読進捗状況の  
報告がなされた。また、遅延している66巻1号を近日中に入  
稿するとの説明がなされた。

14. 英文ジャーナルの進捗状況について（村上論審副委員長）  
村上論文審査委員長より、『Journal of the Science of Design』  
の査読進捗状況の報告がなされた。また、3巻に2号については  
11月発行を目指して準備を進めているとの説明がなされた。

15. 特集号の進捗状況について（井口学会誌編集・出版委員  
長（代理）加藤委員）  
加藤委員より、2020年度の特集号企画2件について報告が  
なされた。次回の理事会において2019年度分の進捗について  
報告することとなった。

16. 作品集の進捗状況について（杉下作品審査委員長）  
杉下作品審査委員長より、本年度は30件の応募があり、次  
週より審査を開始するとの説明がなされた。

17. ホームページ更新状況について（大島広報委員長）  
大島広報委員長より、ホームページを開設していない部会の  
主査への連絡を行っていくとの説明がなされた。また、ISBN  
が付与されていない会員の著書の扱いについては今後検討して  
いくこととなった。

記録：佐藤（浩）

住所不明で戻ってくる郵便物が  
増えております。

住所変更は確実にお願いします。

届出は文書にてお願いします。

転居される方は、FAXまたは  
綴じ込みの「入会届け」に

朱書きで「変更届け」と書き添えて、  
事務局までご連絡ください。

ホームページ

[http://jssd.jp/files/change\\_regular.pdf](http://jssd.jp/files/change_regular.pdf) にも

様式が掲載されておりますので

ご利用ください。

退会等の届出も必ず文書にて

お願いします。

本部事務局

## 日本デザイン学会2019年度第3回理事会議事録

日時■2019年11月9日(土曜日) 11:30~12:20

場所■東北芸術工科大学 デザイン工学実習棟A1階  
コミュニティデザイン学科教室

出席者■松岡、佐藤(弘)、蘆澤、池田(岳)、大島、岡崎、加藤(大)、上綱、工藤、國澤、國本、久保(雅)、久保(光)、黄、小山、杉下、永盛、平松、細谷、益岡、森田、両角、柳澤、山中、横溝、小野、佐藤(浩)、加藤(健)

欠席■小林、井口、池田(美)、柿山、加藤(三)、佐々木、田村、永井、生田目、村上

名誉会員■庄子、梨原

### 1. 会長挨拶

松岡会長より挨拶がなされた。

### 2. 名誉会員の紹介

庄子名誉会員、梨原名誉会員より、挨拶と近況報告がなされた。

### 3. 2019年度第2回運営委員会議事録の承認(佐藤本部副事務局長)

2019年度第2回運営委員会の議事録が示され、原案通り承認された。

### 【審議事項】

#### 4. 2020年度春季研究発表大会について(益岡担当理事)

益岡担当理事より、開催日として2020年6月26日(金) - 28日(日)が示され、承認された。また、大会テーマ、主要日程、見学会、および基調講演などの説明がなされた。理事会日程については、2018年度大会を参考に再度設定することとなった。

#### 5. 春季研究発表大会口頭発表における不正問題への対応(小林研究推進委員長(代) 蘆澤委員)

蘆澤委員より、春季研究発表大会口頭発表における不正問題への対応として、発表者本人への発表不成立の正式伝達、学会webサイトへの本処置の掲載、およびJ-stage上での当該データの削除を行うとの説明がなされ、承認された。

#### 6. 2020年度秋季企画大会について(岡崎総合企画委員長)

岡崎総合企画委員長より、2020年度秋季企画大会の開催校

候補について説明がなされた。議論の結果、東京都市大学での開催検討をお願いすることとなり、開催可否について次回運営委員会までに検討をお願いすることとなった。

#### 7. 2021年度春季研究発表大会について(松岡会長)

松岡会長より、2021年度春季研究発表大会の開催校候補として長岡造形大学が示され、承認された。

#### 8. 論文集の参考文献書式(DOI表記書式)について(佐藤(浩)論文審査委員)

佐藤(浩)論文審査委員より、参考文献書式(DOI表記書式)案が示され、承認された。

#### 9. 早期の論文査読に対する謝礼について(柳澤論文審査委員)

柳澤論文審査委員より、早期の論文査読に対する謝礼の検討事項が示された。議論の結果、論文審査委員会内で具体案を検討して再度提示することとなった。

#### 10. 会員の移動について(佐藤(浩)本部副事務局長)

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、

入会：正会員5名、学生会員4名(内外国人2名)

退会：正会員2名

休会：正会員1名、学生会員1名(内外国人1名)

が承認された。

#### 11. 論文審査におけるオープン査読の検討について(松岡会長)

松岡会長より、近年注目されている査読者の名前やプロセスをオープンに行うオープン査読について、論文審査委員会で検討していただきたいとのお願いがなされた。

#### 12. デザイン領域における研究業績評価のためのインデックスについて(松岡会長)

松岡会長より、作品と論文を考慮した新しいインデックスの検討を学会として行っていく必要性について説明がなされ、継続的に議論していくこととなった。

### 【報告事項】

#### 13. 2019年度役員選挙について(永盛選挙管理委員長)

永盛選挙管理委員長より、2019年度役員選挙の準備状況について報告がなされた。

#### 14. Designシンポジウム2019について(小林副会長(代) 松岡会長)

松岡会長より、11月16日・17日に開催されるDesignシンポ



ジウム2019について説明がなされた。また、15日に開催されるデザイン関連学会シンポジウムについても案内がなされた。

15. 第49回機械工業デザイン賞・日本デザイン学会賞について（小林担当理事（代）松岡会長）

松岡会長より、第49回機械工業デザイン賞・日本デザイン学会賞の受賞作品の報告と紹介がなされた。

16. デザイン学研究の進捗状況について（久保論審委員長）

久保論審委員長より、『デザイン学研究』の査読進捗状況の報告がなされた。また、遅延している66巻1号はJ-stage掲載に向けて準備中であり、66巻2号は初校作成中との説明がなされた。

17. 英文ジャーナルの進捗状況について（村上論審副委員長（代）柳澤論審委員）

柳澤論審委員より、『Journal of the Science of Design』の査読進捗状況の報告がなされた。また、3巻に2号については11月末発行の準備を進めているとの説明がなされた。

18. 特集号の進捗状況について（井口学会誌編集・出版委員長（代）横溝理事）

横溝理事より、2020年発行予定の特集号企画2件について報告がなされた。

19. 作品集の進捗状況について（杉下作品審査委員長）

杉下作品審査委員長より、一次審査が完了し、現在2次審査中との報告がなされた。

20. ホームページ更新状況について（大島広報委員）

大島広報委員長より、会員の著書と農業デザイン部会のページの更新について報告がなされた。

21. 客員会員の訃報（山中理事）

山中理事より、客員会員であるCHARLES OWEN先生の訃報について報告がなされた。JSSDニュースの原稿は山中理事が担当することとなった。

22. IASDR2019開催報告（山中理事）

山中理事より、IASDR2019において220件ほどの発表が行われ、盛況のうちに終えたとの報告がなされた。また、ボードメンバーの交代や2021年の香港開催などの説明がなされた。

23. 「わたし ぼく デザイン」の開催について（久保（雅）理事）

久保（雅）理事より、「わたし ぼく デザイン」が11月12日（木）から12月1日（日）の日程で大阪芸術大学スカイキャンパス（あべのハルカス24階）にて開催されるとの報告がなされた。

記録：佐藤（浩）

## 2019年度春季研究発表大会報告

実行委員会 実行委員長 國本桂史

日本デザイン学会第66回春季研究発表大会（大会長：郡健二郎）は2019年6月28日（金）～30日（日）、名古屋市立大学桜山キャンパスを会場に、名古屋市立大学の共催および名古屋市の後援で行われた。3日間の事前参加登録者数は474名、当日参加者数は111名、合計来場者数は585名となった。

大会テーマを『デザインとヒト：未来に向けて』とし、デザインが対象とする「ヒト」、そして「デザイン」と「ヒト」の関係をこれからの未来に対して、新たに考えていくこととした。

大会のメインモチーフとして名古屋城の象徴である金鯱を利用した。

大会初日は國本桂史 名古屋市立大学、松岡由幸 日本デザイン学会会長の開会の辞とともにスタートした。

基調講演には郡健二郎氏（名古屋市立大学理事長・学長）をお招きし、『デザインとヒト：未来に向けて』というテーマでご講演いただいた。専門分野である医療における多様な研究を例としてデザインとヒト・ヘルスケアがこれからヒトの未来に向けてどのように関わりを持っていくかをお話いただいた。

エクスカッションは、名古屋市昭和区桜山町にあった老舗洋菓子店「喫茶ボンボン」を運営していた先代が昭和30年代につくった昭和レトロな雰囲気のある飲食街「ボンボンセンター」を中心に桜山界隈の散策を楽しんだ。



基調講演（郡 健二郎氏）



エキスカージョン



オーガナイズドセッションA

第2日目、3日目は、276件の研究発表と4つのオーガナイズドセッションを実施した。口頭発表では16分野に加え、5つのテーマセッションが設けられ、170件の発表があった。様々な工夫により、活発な議論が行われた。

ポスター発表は106件となり、本部棟にて2日間にわたり実施された。会場内では熱心に討議する姿が見られた。

オーガナイズドセッションは下記4テーマを実施した。

セッションA「先端医療からのヒトへのアプローチ」(オーガナイザー：國本桂史)では、リモート・サージェリック技術・VR技術・MR技術・手術支援ロボット技術のような「医

工統合」としてのヒトと医療とデザインの新しい関係の取り組みを紹介し、そこから進化する精緻な医療・ヘルスケアの未来について議論がなされた。

セッションB「これからの社会人のデザインの学び」(オーガナイザー：山崎和彦)では、社会人のためのデザイン教育を推進している5名のパネリストと会場の参加者で「これからの社会人のデザインの学びに」についてディスカッションをしていた。一つの方向性をまとめる議論がなされた。

セッションC「リビングラボを活用した高齢者の生活における課題解決の手法」(オーガナイザー：金井宏水)では、高齢



ポスター発表



オーガナイズドセッションB



ポスター発表



オーガナイズドセッションC

者の生活における課題解決のための手法を紹介する3つの教材（3種類の冊子）を提供しながら、その教材をベースにした勉強会がなされた。

セッションD「デザイン学とデザイン科学、その本質～『デザイン科学事典』編纂が意味するもの」では、本事典の編纂を通じて学んだデザイン学・デザイン科学の位置づけ、デザイン科学の枠組み、歴史の変遷、学術としての現有課題などについて解説し、今後デザイン学とデザイン科学がデザインの現場や社会に有益と実感できるために我々が何をなすべきかについて議論された。

懇親会は29日（土）、メルパルク名古屋にて行なわれ、約120名の多くの参加者を迎えた。会場では会員間の交流や情報交換の様子が見られ、親睦を深めることができた。

また、厚生会館（西）1階にて企業7社によるデザイン、ものづくりの事例を展示し、一般の方にもご覧いただける企業展示を実施した。

今大会には、学会員や学生の皆様に多数参加いただき、出展企業・自治体の皆様には開催に向け様々なかたちでご協力をいただき、松岡会長はじめ理事会、本部事務局の皆様にも多大なる御支援をいただき、大盛況で終えることができ心より御礼を申し上げ、開催報告といたします。



オーガナイズドセッションD



懇親会の様子



閉会式の様子

## 2019年度日本デザイン学会秋季企画大会・第1支部大会報告

大会実行委員長 柚木泰彦

2019年度日本デザイン学会秋季企画大会は、東北芸術工科大学を幹事校として、2019年11月8日（金）から11月10日（日）の日程で開催されました。また、秋季企画大会と同時開催の形で日本デザイン学会第1支部大会を開催しました。参加者は約150名でした。

令和元年を迎え、本大会では未来をポジティブに切り拓くためのテーマとして「おいしいデザイン」を掲げました。「おいしい」という言葉は単に「味がよい」という意味に留まらず、「ここでしか味わえない魅力」「自分も幸せ、みんなも幸せ」など幅広い解釈もできるとともに人々の感覚の奥深いところに響く魅力や価値を表しているところとらえ、ここ山形市を舞台に地域を元気にするデザインを見つめ、未来を語り合う機会を用意しました。大学内での企画に加えて、山形市内を巡るフィールドワークを取り入れ、第1支部で開催する大会の特徴である「街に出る」コンセプトを踏襲するプログラム構成としました。また、大会を支える人員や予算に限りがあるため、手間や経費のかからない大会運営を心掛けました。主なプログラム概要を以下に記します。

□大会初日（11/8 | 金）

### 1) 開会式・表彰式

松岡由幸学会長からの開会挨拶の後、以下の通り、各賞表彰及び授賞式を行いました。

- ・功労賞：清水忠男氏、青木史郎氏
- ・年間論文賞：森下あおい氏、中村顕輔氏「シニア・ファッションに向けたデザイン画の基準体形像」
- ・年間作品賞：林 秀紀氏、櫛 勝彦氏「教育効果のある木育玩具のデザイン開発」上野明也氏「トポロジー最適化を利用したキッチンカーの開発」



## 2) 基調講演

東北芸術工科大学中山ダイスケ学長より大会テーマと同じ演題での基調講演をいただきました。首都圏の大学とは全く異なった状況に大学をあげて奮闘する取り組みを紹介しながら「おいしいデザイン」を「新しい豊かさ」ととらえ、これからの時代に求められる芸術大学の役割、デザインの視点について熱く語られました。



基調講演 (中山ダイスケ氏)



ライトニングトークのグラレコ



ライトニングトークのリフレクション

## 3) 出版記念講演

日本デザイン学会松岡由幸会長より「デザイン科学事典」(学会編/丸善出版)の概要を紹介いただくとともに、その編纂を通じて得られた、学会が取り組むべき今後の課題についても言及されました。上記2つの講演は公開プログラムと位置づけ、広く市民、学生にも聴講いただきました。

□大会2日目(11/9 | 土)

## 4) ライトニングトーク

研究発表の枠にとらわれずに自由な視点で自らのデザインに関する考えや実践について発表しました。

本学会の会員だけでなく、地域で活躍されている工業技術センター職員、個人事業主の方も含め、計12件の報告が行われ



ライトニングトークの様子

ました。

大会テーマ「おいしいデザイン」に関連する発表も多く見られ、食とデザインの関係性、「おいしい」の解釈の幅の広さを感じさせる時間となりました。また、東北芸術工科大学プロダクトデザイン学科学生によるグラレコチーム(指導:稲村理紗氏|まちづくりファシリテータ)が各発表の概要に対するグラフィックレコーディングを行い、その記録をもとに活発なレフレクションの時間をもちました。

進行:酒井 聡

## 5) 学生プロポジション

デザイン学研究の普及を目的に「学生プロポジション」展覧会(ポスターや成果物の展示によるインタラクティブ発表)を実施しました。全国18校から参加した54名の学生が前・後半に別れてポスター発表を行い、活発な質疑応答や意見交換を行いました。厳正なる審査の結果、今年度は54件の発表のうち17件に優秀賞を授与いたしました。

担当:藤田寿人、岡崎 章、加藤健郎、細谷多聞

## 6) 討論会「新しい論文のかたち」

デザイン実務そのものを研究対象とし、実質的な成果・知見・経験の言語表現の可能性を有するデザイン学における「新





学生プロポジションの様子



フィールドワークのオリエンテーション



フィールドワーク成果発表

しい論文のかたち」を目指した討論会を開催し、活発な議論が行われました。

進行：久保光徳

#### 7) フィールドワーク「おいしい山形を探そう！」(会場：山形市内「gura」)

社会人と学生混成の6チームを結成し、チーム毎にテーマを決めて山形市七日町周辺においてフィールドワークを行いました。フィールドワークの始めに、東北芸術工科大学 建築・環境デザイン学科教授 志村直愛氏より、山形市の成り立ちについて事前レクチャーを受けました。また、東北芸術工科大学学生が各チームのローカルナビゲータとして街中を案内し、地域住民との有意義な交流を支援しました。

進行：長田純一

#### □大会3日目(11/10|日)

#### 8) フィールドワーク成果発表会

各チームそれぞれに、感性豊かな視点から思い思いに「おいしい」を映像表現でまとめ、魅力あるプレゼンテーションと示唆に富んだ意見交換の機会となりました。前日のレクチャーをされた志村直愛氏にもコメンテーターとして参加いただきました。

進行：長田純一

なお、企業展示は、株式会社Too、株式会社エーアンドエーブックスの2件でした。

文末にはなりますが、ご参加いただいた皆様、開催にあたってご協力いただいた皆様に感謝の意を表すると共に、会員の皆様の益々のご発展を祈念し、開催報告といたします。

■大会実行委員長：柚木泰彦、副実行委員長：酒井 聡、実行委員：藤田寿人、長田純一

■日本デザイン学会第1支部長 横溝 賢、副支部長 原田 泰

■大会website：<https://www.tuad.ac.jp/jssd19f/>

### 2020年度日本デザイン学会春季研究発表大会告知

岡山県立大学 益岡了

令和2年度春季研究発表大会の日程と会場についてお知らせいたします。多数の会員のみなさまのご参加をお待ちしております。

■日 程：2020年6月26日(金)～6月28日(日)

■会 場：岡山県立大学

#### 【重要な日程】

【1】発表申込期間／概要集原稿投稿期間 2020年3月1日(日)～3月31日(火)

## 自動引き落とし手続きのお願い

当学会では、会費の自動引き落としが義務付けられております。すでに、半数以上の会員の方にご利用いただいておりますが、まだ登録がお済でない会員の方は、登録手続きをされますよう、お願い申し上げます。また、口座引き落とし依頼書がお手元にない方は、本部事務局へご請求ください。

2020年度の年会費引き落としは、5月7日付けにて引落をさせていただきます。

宜しくお手配くださいますようお願い申し上げます。

本部事務局

【2】参加申込期間 2020年5月1日（金）～6月12日（金）  
事前参加申込期間（割引適用）：2020年5月1日（金）～5月31日（日）

事前参加申込期間（割引適用外）：2020年6月1日（月）～6月12日（金）

（申込期間終了後は会場受付にて現金払い）

※詳細につきましては、準備が出来次第、日本デザイン学会ホームページ等にてお知らせいたします。

### 2019年度JSSD 第四支部 秋期研究発表会に関して

■開催期間：2020年02月01日（土）9：30～18：00

■会場：京都女子大学 京都市東山区今熊野北日吉町35

■テーマ：「変わるデザイン・変わらないデザイン」

参加者は、松岡学会長はじめ他支部の会員、第四支部の会員及び学生と多岐にわたり盛況だった。昨年（2019年）は、バウハウスが誕生してから百年が経った記念すべき年。バウハウスは1919年から1933年の僅か14年間の総合芸術教育研究活動でした。その功績は非常に大きく、モダンデザインの礎を築き、今もなお世界中の建築、デザインに多大な影響を及ぼしている。2019年度JSSD第四支部本研究発表会では、令和の時代を迎えて大きく変化するデザイン環境を今一度俯瞰し、バウハウスの精神にも立ち返り、“変わるデザイン・変わらないデザイン”について考えてみることにした。多様な研究者のそれぞれの目線で次代を見据えて、変わる・変わらなければならないデザインとは…、変わらない・ずっとまもり続けるデザインとは…について、積極的な論議が出来た。

■研究発表タイトルと発表者（所属略）

1. 開会あいさつ 変わるデザイン・変わらないデザインーバウハウスから現代を俯瞰／久保実行委員長
2. 水害時におけるにおけるコミュニティ連携と移動方法のデザインに関する考察／佐藤静香、前川正実
3. WebサイトにおけるUX・UIの研究／野村夢乃、山岡俊樹
4. 抽象の今／水野忠陽
5. 女子大生の洋服コーディネートと色組み合わせが与える印象／櫻井海晴、山岡俊樹
6. メンタルモデル構築に関する3種類のモデルの有効性の検討／平城希望、山岡俊樹
7. 〈Object〉 Innovation Number. Improvement Number形式による革新と改善の集約の試み／新家敦
8. グループでアイデアを生み出すための創造的な活動過程の考察／富田咲希、前川正実
9. 百貨店の今後についての考察／境明悠、山岡俊樹

10. 画面の見やすさ実験と許容範囲測定法有効性／増山未  
 柚、山岡俊樹
11. マニュアルにおけるヒューマンエラーの分類と操作説  
 明動画に関する研究／益本佳歩、山岡俊樹
12. バイタルサインを利用した脱水症状予防アプリケーショ  
 ンの提案／辻村真太郎、益岡了
13. バイタルサインを用いた中小企業の事業者と労働者の  
 ためのストレス軽減アプリの提案／辻村真太郎、益岡了
14. デザイン活動（教育）は知的障害を持つ方々に寄り添  
 えるのか。／植原靖
15. クラシックバレエにおける体幹伸展動作に対する意識  
 調査／権野めぐみ、野村照夫、来田宣幸
16. ユーザの要求事項に基づく石鹸のサービスデザイン提  
 案／松井彩、山岡俊樹
17. 次世代のユーザに向けた日本茶に関するデザイン提案／平  
 坂月奈、山岡俊樹
18. 対象者の意識と無意識に効用する情報を制御統合する  
 デザインメソッド／中川志信、董然
19. キャラクターマーケティングにおけるキャラクター制  
 作方法についての検討／片桐菜絵、山岡俊樹
20. 京都市内のバスシステムに関する調査報告とコンセプト  
 の構築／山内優季、青沼紗央、岡本品、貴傳名彩香、佐藤  
 静香、田中郁乃、富弥志穂菜、広瀬紗也、前川正実
21. つながるバスシステムの提案／岡本品、青沼紗央、貴傳  
 名彩香、佐藤静香、田中郁乃、富弥志穂菜、山内優季、前  
 川正実
22. メンタルモデルのバリエーションの検討／大森るな、  
 中尾桃子、山岡俊樹
23. 物語を用いたマニュアルにおける感情とメンタルモデ  
 ル構築に関する検討／花谷美里、山岡俊樹

■基調講演 平田智彦氏 HYPHENATE代表取締役（元  
 ziba tokyo代表取締役）16：30-18：00

これまでの平田氏のデザイン活動から、バウハウスから今日



図2 平田氏の基調講演

のHYPHENATE立ち上げまでの実際を話して頂き、変わる  
 デザイン・変わらないデザインを具体的に提示された。  
 HYPHENATEでは、「美しい体験を創る」をミッションに、  
 プロダクト・UI・サービスデザイン、リサーチとビジネス創  
 出を対象にzibaから離脱し新しいスタートを切ったと説明が  
 あった。また、講演後活発な質疑があった。

■交流会 18：10-19：30 平田氏、松岡会長も含め多くの  
 参加者があり、活発に交流を行った。

文責 久保雅義

## 農業デザイン研究部会の発足

農業デザイン研究部会は本年度に発足し、2020年1月10日  
 に研究会を開催しました。

現代の農業は1次・2次・3次産業を総合した6次産業とし  
 て、農業用機器の研究開発、農村ツーリズムによる地域振興、  
 バイオテクノロジー等、農作物の生産とともに、農業支援によ  
 る国際協力等、流通や生活の文化形成の全領域に及ぶ総合的な  
 役割を担っています。このような農業の可能性を総合的に研  
 究、計画するために第1回研究会を、長野県上田市で開催しま  
 した。日本全国から研究者が集い、長野県、上田市の行政職員  
 がそれに加わることで、より実践的な意見交換を行いました。

（研究推進委員会 小林昭世）



図1 研究発表の様子

## 献本御礼

### ◆献本

「Vision in motion ニュー・バウハウスのデザイン哲学」

ラースロー・モホイ=ナジ著 井口壽乃訳

「インターフェースデザインの教科書」第2版

「デザインマーケティングの教科書」井上勝雄著

「シンボルマークの創作と法的保護」JAGDA創作保全委員会編

「デザイン科学事典」日本デザイン学会著 編集委員長：

松岡由幸

「JAGDA INTERNATIONAL STUDENT POSTER AWARD  
2019」発行：JAGDA 2019年11月

◆機関誌ほか

「DNP文化振興財団 学術研究助成紀要 第2号」  
発行：公共財団法人DNP文化振興財団、2019年11月  
「中部デザイン団体協議会（CCDO）創立30周年記念  
プロフィールブック」発行：中部デザイン団体協議会  
（CCDO）、2019年6月  
「GK Report 2019 No.36 パブリックトランスポートの  
明日」GKデザイングループ、2019年11月  
「デザイン理論 意匠学会編 75号」  
発行：意匠学会編、2020年2月  
「The JAGDA 195」発行：JAGDA、2019年10月  
「TAMABI NEWS 83」発行：多摩美術大学、2019年  
「JOS 第11巻第2号」発行：日本オフィス学会、2019年11月  
「日本オフィス学会 第20回大会報告」  
発行：日本オフィス学会、2019年12月  
「approach Autumn/Winter 227/228号」  
発行：株式会社竹内工務店、2019年9/12月

会員の移動

◆2019年度3回理事会 2019.11.09

入会  
正会員5名  
池田 稔 河西 大介 島倉 瞳 田村 篤昌  
西尾 幸子  
  
学生会員4名（内海外会員2名）  
金崎 傳 早田 雄人 Li Xuehui ソウ サン  
  
退会2名  
正会員2名  
高嶋 啓 内木 智草  
  
休会  
正会員1名  
矢坂 俊継  
  
学生1名（内海外会員1名）  
Shi-Mei Huang

訃報

朝倉 悠三（第一地区）ご冥福をお祈り申し上げます。

◆2019年度4回理事会 2019.12.14

入会  
正会員5名（内海外会員1名）  
小佐原孝幸 菅野 博貢 竹内 啓行 藤崎圭一郎  
張 皓  
  
学生会員3名（内海外会員2名）  
高田瑠美子 姜 琦 WANG JIAYUE  
  
退会  
正会員5名  
浅野 恵治 四宮 孝史 関本 隆次 丹藤 翠  
本山 真帆  
  
休会1名  
正会員  
濱本 隆

◆2019年度5回理事会 2020.02.08

入会  
正会員5名（内海外会員1名）  
磯野 誠 兼松 佳宏 木村 知世 中田 文明  
Neda FIRFOVA  
  
学生会員2名  
小林 桂 水内 空歩  
  
退会  
正会員3名  
石塚 耕一 木村 英俊 山崎 直秀  
  
休会  
正会員1名  
北浦 肇  
  
学生会員1名（内海外会員1名）  
林 聖桓